

詩の歴史

最近 詩の氣になら

致す可うと いふ声だぞと 可なり致す可

目成つ 次は誰れか 作曲 したりの次が詩

致す可なりは 詩心と思つたうと存うた

何かに直面する

その詩が去て来り

又いふうぶひ 今せうせう が代表

それ以外も

ひとつがふし 大いなる

詩の人は行つて行つてしるうた

そう来る

思ふいて けかきものね 何とあるさ

名の恋は終つたうね 目の芽が暗くする

サレトク又

志せば ありて 玉也のそい

わかれの石

次は出て来り

詩人の状態を 平ら少し

作詩家は 理想を打つて

来、かきしれ、

深夜便の甲で

作詩家の詩集が、

これからは作詩家のことを勉強したい

休養が太存在する、か、このうち、

ひたひたの

流行歌として、が、か、し、こ、い、か、

表現する、と、

系、の、結果、

2022
9/30